ラヴラヴフィリピン語講座 講師：白野慎也

Lesson .7 カラオケ minus one/karaoke マイナス ワン/カラオケ

minus one/karaoke

「恋する指さし会話帳@フィリピン語編」P20-21より 発行元：情報センター出版局

みなさんこんにちは。今回のテーマを愛するみなさんが「愛を深める」実践的フィリピン語表現を学ぶ「ラヴラヴフィリピン語会話講座」の時間です。テキストは弊書「恋する指さし会話帳@フィリピン語編」です。

今回は、テキスト20～21ページの「カラオケ」に関するレッスンです。

【レッスン1：カラオケを楽しむ場所】

フィリピン人の日常娯楽の王者と言ったら歌と踊りで間違いないでしょう。フィリピン人は歌を歌うことも聞くことも大好きです。歌を歌うといったらカラオケです。カラオケはもはや世界の言葉。もちろんフィリピンでもカラオケで充分通じます。マニラやセブなどのフィリピンの大都市では日本式のカラオケボックスもできてきましたが、フィリピン人がカラオケを楽しむのは、KTVかラオケというクラブかビールハウスとよわれる本当に普通のフィリピン人(男性)が足を運ぶ飲み屋です。ウェイターが歌の注文を取りに来ると、ウェイターを呼んで歌を入れて歌います。KTVカラオケではカラオケ無料のことさえ1曲あたり5～10ペソ（10～20円）ほど料金を取ることもありますが、無料の店もあります。ビールハウスの場合はほとんどの店がカラオケ無料です。ですからビール1本30ペソ（60円）ほどのお酒でチビチビやって何時間もカラオケを楽しむこともできます。ただ、仕事帰りに男たちがそろって飲みにいくというと、夜の女性をそろえた接待と混ざという誤解を招きますから気をつけたいもです。フィリピン人の奥さんへの浮気は禁物です。フィリピン人の彼女がいる人も彼女にばれないように気をつけ、必要ならアリバイ工作もしっかりしておく必要があります。

また、フィリピン人は来客があったとき、親戚や ご近所の集まり、誕生日などさまざまな機会に集まっているパラ宴を催します。そのときも歌は重要なパートを占めています。フィリピンではVCD（ヴィデオCD）というDVDにもなじんでいるCDとVCD用のプレイヤーが非常にく普及しており、パーティのときによく使います。ほとんどのVCDシリーズは日本のDVD プレイヤーやパソコンでも再生できます。カラオケのバックにはフィリピンの美しい自然や名所などが登場しますから、私はフィリピンが恋しくなったときに、フィリピンの美しい風景や魅力的な女性の登場するVCDを再生しながら仕事に励んでいます。

また、ショッピングモールのオープンスペースに採点機能つきのカラオケもありいつも長蛇の列の人気です。

【レッスン2：フィリピンの音楽界の動向】

今日のフィリピンは音楽界の主流はジャンルで言うならR&Bとアコースティックが隆盛を極めており、音楽市場における英語曲対フィリピン語曲の比率で言うならば7：3ぐらいうまくで圧倒的に英語の歌が優勢なのです。しかし、やはりフィリピンポップスのリジャンルとしてフィリピン語によるスローバラードは不滅です。はやらなくなったといわれる音楽の最古で男性が思いを寄せる女性の家の前辺で歌う歌はくり切ないフィリピン語のバラード曲です。歌は踊りとともにフィリピンでのコミュニケーションには欠かせないものです。フィリピン好きな方ならフィリピン語の歌のレパートリーも3曲ほど覚非持っていたいものです。フィリピン語の歌をマスターしたことがない人も、まずはスローなバラードから挑戦してみてください。曲は歌詞（「何が歌ってほしい曲はある」と聞いて決めたらどうでしょう。

【レッスン3：カラオケボックスなどで】

カラオケボックスはマニラ・セブ・ダバオなどの大都市に限られています。日本人の経営するカラオケボックスに行くと、サービスはまったく日本タイルなんですが、とちがくフィリピン語曲がたくさんあるので、私のようなフィリピンPOPS（OPM:オリジナル・フィリピーノ・ミュージック）ファンは感激します。「歌いたい曲がない」という日本で嘆くお客様不満がを解消されるからです。「歌いたい曲はいくらでもそこにある」のです。ここでは、リモコンの使い方は不明瞭。ただし通信カラオケのシステムにはなっていないようさてほとんどの店で選曲されてから入力でVCDを用意しています。私もかつてたまたま、舞台裏での人力作業にあるVCDの取扱えの場面に遭遇して驚いてしまいました。

【レッスン4：フィリピン人は歌がうまいか？】

フィリピン人にとって音楽は日常生活に欠かせません。フィリピン人は「歌がうまい」というよりがよいです。でも美たしてどんなものでしょうか？　私見としては、日本にもフィリピン人にもうまい人も下手な人もいると思います。わたしもフィリピン人は歌が上手という幻想を抱いて1993年マニラに渡ったのですが、その幻想は近一年にわたるフィリピン滞在で完全に打ち砕かれました。下手な人もいます。中には信じられないほどの音痴もいます。今では、小さいころからカラオケボックスなどで歌うことに慣れている日本人の方が俗雑な音痴は少ないしゃしゃいかと思うようになりました。機会があったら音ムの耳で確認してください。

【レッスン5：日本語とフィリピン語のギャップ？】

最後に、歌に関連して、日本とフィリピンのちょっとした文化のギャップに触れたいと思います。日本ではキュートな歌声という表現をすることがありますが、フィリピンでは容姿や所作に関してキュートということはあっても声についてはキュートとは普通言いません。また、日本人はカラオケのときによくハモリをつけてとかハモロウなどと言いますが、フィリピンではハモリはsecond voice(セコンド　ヴォイス)やハーモニーなどと言っても、日本での生活経験のあるフィリピン人くらいにしか通じません。これも日本語関語なのです。

では、今回のレッスンはここまでにします。「恋する指さし会話帳」はますます恋の仕掛に入っています。ご期待ください。ではまた来月をさようなら。■

白野慎也（しらのしんや）
1963年生まれ。1993年マニラ滞在。1995年帰国。1996年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。1997年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。1998年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。1999年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2000年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2001年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2002年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2003年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2004年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2005年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2006年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2007年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2008年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2009年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2010年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2011年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2012年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2013年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2014年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2015年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2016年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2017年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2018年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2019年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2020年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2021年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2022年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2023年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2024年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。2025年ラヴラヴフィリピン語講座を開講。

★「恋する指さし会話帳@フィリピン語編」大好評発売中！

本講座のテキスト「恋する指さし会話帳@フィリピン語編」は、フィリピン人の方のお友達やフィリピン人の恋人のプレゼントとして、フィリピン人タリントの日本語研修教材としても大変役立て下さい。購入の申し込みは下記までどうぞ。本書の中はかフィリピン語学習に役立つ情報を沢さんいろいろ揃えてお待ちしています。

有限会社 アドマーズ　Tel：03-5285-0070
e-mail：tgs@admars.co.jp
http://www.admars.co.jp/tgs/（フィリピン語学習に役立つ情報やオリジナル商品もいろいろ取り揃えています）

★好評発売中！「恋する指さし会話帳@フィリピン語編　ショートプレーズ集Vol.1　出会い編」待望の発売開始

日本人の男性とフィリピン人女性の出遇いからハッピーエンドに至るまでの会話テキストとCDがセットになった新感覚型学習セット「ラヴラヴフィリピン語会話」の第1弾。ショートフレーズ集の第一作目にあたる3月に発売になりました。内容は、本レッスンでもご紹介している「恋する指さし会話帳@フィリピン語編」のCD版。内容はさらに厳選され、覚えやすくなっています。CDを聞き流しながら、狂い歌の部分いの言葉が耳につけられるちょっと異般な実用型教材です。詳しくは今月号の書評でも紹介されていますのでご覧下さい。

一般書店では購入できません。これは、アドマーズの通販が便利です。

有限会社 アドマーズ　Tel：03-5285-0070
e-mail：tgs@admars.co.jp
http://www.admars.co.jp/tgs/（フィリピン語学習に役立つ情報やオリジナル商品もいろいろ取り揃えています）

★「フィリピン語プライベートレッスンが全国どこからでも」好評開始！

本書（「恋する指さし会話帳@フィリピン語編」）や「旅の指さし会話帳〜フィリピン編」の著者としておなじみの野澤也が、読者のみなさまの要望で開始したマンツーマンのプライベート レッスンにインターネットレッスンが加わり、全国どこからでもレッスンが受けられるようになりました。フィリピン語を勉強したいけどうやって始めたらよいかわからない方、始めたものの途中で挫折してしまった方、マンツーマンの密度の高いレッスンが全国どこでも受けられます。お気軽に下記のアドレス宛てメールをお送り下さい。（tgs@admars.co.jp）